様式１

令和8年度　調布市立上ノ原小学校　学校経営計画（学校長　釜池　秀男）

学校の教育目標

◎よく考え 進んで学習する子ども　　○思いやりをもち 仲良くする子ども　　○健康で 明るく元気な子ども

目指す学校像(ビジョン）　例）学校像，教員像，児童・生徒像

目指す学校像　【笑顔あふれる楽しい学校】

（１）児童にとって　「よろこびのある毎日が送れる学校」

【日々】　・学んで分かるよろこび　・友達と関わることのできるよろこび　・心を解放して体を動かすよろこび

【長い目で】　・自分の成長が実感できるよろこび　・自分の存在が認められるよろこび　・自分の将来に希望がもてるよろこび

（２）保護者、地域にとって　「安心して任せられる私たちの学校」

・よく見える学校→教育活動の積極的な発信（来校機会確保，学校 HP，すぐーるの活用）　・安心できる学校→素早く，丁寧で誠実な対応（子どもの成長を願って共に悩み，喜ぶ）　・私たちの学校→協力，協働の取組（コミュニティ・スクール，学校を核とした地域づくり）

（３）教職員にとって「楽しくやりがいのある職場」

・風通しのよい明るい職場（まずは挨拶，コミュニケーションをしっかりと）　・やりたいことができる職場（できない，やらない理由を作らずにチャレンジ）　・成長できる職場（学び，成長する機会の確保　職に誇りと責任を）

ビジョンの設定理由 （本校の現状と課題）	○児童は、学力が高く真面目な児童が多いが、全体的におとなしく控えめである。令和７年度体力テストの結果（学年別男女別）では、男女とも多くの種目で東京都の平均を下回っている学年が多い。児童の体力向上を目指し、児童が日常的に体を動かし、運動の楽しさを感じることができる取組や環境づくりをしていくことが課題である。 ○不登校及び不登校傾向のある児童が少なくない。家庭、SC、関係機関と連携した組織的な対応を進めること、また、コミュニティ・スクールとして、「地域とともにある学校」づくりを推進していく。 ○教科担任制を生かし、校内研究や OJT を通して、教員の指導力を向上させること。また、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を行うことが課題である。

中期的な経営目標

1 自他の命を大切にし、人と人との良い関係を築く力の育成　2 自ら課題を発見し、解決していく力の育成　3 心と体を鍛え、前向きに行動する力の育成　4 学校・家庭・地域が協働して子どもたちの豊かな成長を支えていく学校づくり　5 美しい環境の学校づくり

人・組　・授業力の向上　・校務分掌の活性化　・服務規律の徹底　・ライフ・ワークバランスの推進

調布市立学校における共通した領域　＜短期的な経営目標＞

1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1)　取組目標（具体的方策）	(1)　取組目標（具体的方策）	(1)　取組目標（具体的方策）
①教科担任制や交換給食を通して子どもの良さを多面的・多角的に見取り、自己肯定感・自己有用感を育む。	①週ごとの指導計画を作成、提出し、計画的な指導を行い、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。	①挨拶を核とした基本的な生活習慣の定着を図る。
②集団への所属感を高め、充実した学校生活を送るために行事を改善する。また、道徳授業改善のためにローテーション授業を行う。	②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、子どもを主語にした学習を推進する。	②栄養士による給食メモ、養護教諭による保健指導を通して、心身の健康の保持増進に関する意識を高める。
③学校生活アンケートを毎月実施するとともに児童や保護者の声に耳を傾け、素早く丁寧で誠実な対応をし、心の居場所づくりに努める。	③一人１台モバイル端末を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	③ねらいを明確にし、運動量を確保した体育授業を行うとともに、持久走週間・なわ跳び週間等の体育的活動を通して体力の向上を図る。
(2)　成果目標（数値目標）	(2)　成果目標（数値目標）	(2)　成果目標（数値目標）
①市・魅力ある学校づくり調査「学校が楽しい」５７％以上	①全国学力状況調査・平均正答率東京都平均以上	①保護者アンケート「お子さんはすすんで挨拶ができる」肯定的評価 75%以上
②市・魅力ある学校づくり調査「みんなで何かをするのは楽しい」70%以上	②市・魅力ある学校づくり調査「授業に主体的に取り組んでいる」40%以上	②都・体力調査「朝食を毎日食べる」90%以上，「毎日８時間以上寝ている児童」70%以上
③保護者アンケート「子供たちが安心して生活できる」肯定的評価 90%以上	③市・魅力ある学校づくり調査「授業がよく分かる」52%以上	③体力向上校内意識調査「運動をすることが好き」肯定的評価 80%以上

学校の特色を生かした領域　＜短期的な経営目標＞

4 保護者・地域との連携	5 美しい環境の学校づくり
(1)　取組目標（具体的方策）	(1)　取組目標（具体的方策）
①保護者の来校機会を毎月確保する。HP を年間 200 回更新する。	①靴箱の靴をそろえることや清掃の指導を継続して行う。
②学校運営協議会と協議を重ね、地域とともにある学校づくりを進める。	②FF 暖房機撤去、教室ロッカー、壁、掲示板の改修を計画的に行う。
(2)　成果目標（数値目標）	(2)　成果目標（数値目標）
①保護者アンケート「家庭で学校の出来事が話題になる」肯定的評価 90%以上	①靴箱の靴がそろっている学級，清掃が行き届いた学級 55%以上
②保護者アンケート「地域・保護者と協力した教育活動」肯定的評価 90%以上	②保護者アンケート「教育環境の整備に努めている」肯定的評価 85%以上

人材育成・組織運営

○授業力の向上

・教科担任制を生かして教材研究を深める　・OJT の推進　・校内授業公開実施による学び合いの機会確保　・校内研究の充実

○校務分掌等の活性化

・主幹教諭を核とした組織運営の推進　・起案文書の流れを徹底し、職の立場と役割を明確にし、意識を向上させる。

○服務規律の徹底

・定期的な研修と服務ニュースレターを活用した管理職からの講話により、教育公務員としての自覚と人権意識を高める。

○ワーク・ライフバランスの推進

・校務支援システム等を最大限活用し業務を効率化させることで、全教職員の１か月の時間外在校時間４５時間以内を目指す。